

## 上手にシャントを管理するポイント

シャントは透析患者さんにとっては命綱であり、トラブルがなく良好な状態に保つことが大切です。

以下に紹介する観察ポイントやトラブルの回避を心掛けて、上手にシャントを管理して下さい。

### ☆シャントの観察

#### ○スリルを確認して下さい。

シャント部に手をあてて血流の振動を確認して下さい。

#### ○シャント音を聞いて下さい。

聴診器をあて、『ザーザー』や『ゴーゴー』という低い音が聞こえるか、確認して下さい。

一日一度は、シャントの状況を確認して下さい。

※シャント音確認用の聴診器購入を希望する方は、スタッフにお申し出ください

### ☆シャントのトラブル回避

#### ○圧迫防止

シャントを圧迫して血の流れが悪くすると、狭窄や閉そくの原因となります。圧迫されるような衣類の着用、腕時計や手提げかばん等で締め付けない。腕枕や重たいものを持つといったこともしないでください。

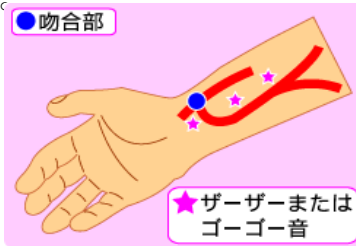
#### ○感染防止

透析後の入浴はシャントの感染・出血を防ぐため翌日まで控えて下さい。また、穿刺孔を保護している絆創膏は細菌の繁殖を抑える為、翌日には外し良く乾燥させて下さい。

シャント音が聞こえない時はすぐに病院へご連絡下さい。

病院電話番号 028-633-3777

宅直医師番号 090-6938-4938



**堀見博之 先生** ご挨拶：初めまして、11月4日より大野内科医院でお世話になっています。1985年(昭和60年)頃より、内シャント手術に携わっている外科医です。一部の方々には既に苦痛の出会いを経験されていると思います。この経験も一度で済めばいいのですが、二度三度と繰り返す場合もあり、まさに忘れられない出会いとなっている方も多いのでは、と考えます。この手術も私の年齢のごとく徐々に増加して数千の単位となりました。苦痛を耐えて頂くのは自分でないのに、勝手に“我慢してください”、“ここは麻酔が効きにくい所なんです”などと言ったり、恣意的な態度が多かったように感じています。今後も内シャントトラブルは避けて通れないことなので可及的に短時間で、長持ちのする内シャント手術に専念したいと思っています。さらに、痛みも出来るだけ軽減していきたいと考えています。

### 人工透析患者カードについて

ドライウエイトなどの変更は、毎月技士又は看護師がチェック致しますので、

毎月最初の透析日に各ベッド上のテーブルに提出して下さい。

こちらが、財布などから取り出す等の行為はいたしません。

また、ドライウエイト以外の変更がある場合は一度返却していただき、後日作成し直した物と交換致します。

連絡先の変更等がある場合は、そのつど技士または看護師にご報告下さい。

### 災害時伝言ダイヤルの訓練について

- 日時：毎月1日 午後3時～(日曜日も行います。)
- 訓練翌日または翌々日に伝言ダイヤルの内容を確認しますのでよろしくお願い致します。

### 今後の訓練予定日

2/1 (土)・3/1 (土)・4/1 (火)・5/1 (木)  
6/1 (日)・7/1 (火)・8/1 (金)・9/1 (月)  
10/1 (水)・11/1 (土)・12/1 (月)



ご不明な点がございましたらスタッフまでご確認下さい。